

2012連合平和行動!



「平和の泉 (平和公園)」清掃

毎年連合長崎の平和ボランティア行動として、8月の平和集会の前段に清掃活動を実施しています。「平和の泉」清掃活動は核禁会議長崎県民会議が実施していましたが、1999年から、連合長崎として引継ぎ、特に女性・青年委員会を中心に実施しています。

今年は7月21日(土) 9時~10時30分まで約90人の参加で作業を行いました。



連合長崎平和キャラバン隊出発式

日本は世界で唯一の被爆国であり、その被爆都市である広島と長崎から恒久平和を願い、連合平和行動をより積極的に推進する第一歩として、8月4日に広島で開催される「核兵器廃絶平和ヒロシマ大会」へ平和キャラバン隊を編成し、街宣行動を展開しています。このキャラバン隊の出発式を8月3日(金)の12:20から長崎市役所西側広場で、12:40から長崎県庁前広場で行いました。



核兵器廃絶2012平和ナガサキ大会

8月7日(火) 15:30から長崎県立総合体育館メインアリーナで、全国各地から4,500人の参加者で「核兵器廃絶2012平和ナガサキ大会(主催:核兵器廃絶平和ナガサキ大会実行委員会 構成:原水禁・連合・核禁会議)」を開催しました。

連合・原水禁・核禁会議の3団体は2004年10月に「核兵器廃絶」と「世界の恒久平和実現」に向け、平和運動を統一行動として展開し、国民運動をつくりあげることを確認しました。2005年には1,000万署名

活動をはじめ、ニューヨーク行動などの積み重ねのもとに、広島、長崎における平和集会を開催し、今日に至っています。

本大会においても、「核兵器廃絶」と「被爆者支援」の実現に向け、3団体による実行委員会により開催しています。「被爆者からの訴え」や「親子で綴る平和の願い」を通じて、核兵器廃絶、被爆者支援を訴えました。



全国から集まった参加者





開会あいさつ：川野 原水禁議長



主催者代表あいさつ：南雲 連合事務局長



来賓あいさつ：中村 長崎県知事



来賓あいさつ：田上 長崎市長



海外来賓あいさつ：
スティーブン・ベネティクトさん



被爆者の訴え：中島正徳さん



ピースメッセージ：広島代表团



高校生平和大使 報告と決意



構成詩「親子で綴る平和の願い」

構成詩「親子で綴る平和の願い」は、次世代への継承を意識（親子で平和について考える）しながら、連合長崎構成組織の組合員、家族（親子）・女性・青年を中心として『核兵器廃絶「高校生1万人署名活動」実行委員会メンバー』などの参加で「2002平和ナガサキ集会」で、初めて全国の仲間の皆さんに披露することができました。

この構成詩は、とりわけ情報労連の仲間に協力をいただきながら11年目となり、世界恒久平和・核兵器廃絶への大きな思いと感動を与えることができるように、約100人で発表しました。

構成詩とは、歌と朗読（被爆体験等）で、一つの物語を構成しているものであり、劇とは違います。特に歌は、バンドメンバーのオリジナル曲です。



平和アピール

ピースフラッグリレー

閉会あいさつ：大山 核禁会議副議長

ナガサキからの平和アピール

一瞬にして、7万4千人余が息絶え、7万5千人余が傷ついた、原子爆弾が長崎に投下され今年で67年を迎える。かろうじて生き残った人々も、今もなお放射線障害に苦しんでいる。今日、核兵器は未だに世界に約1万9千発も存在し、人類は、核兵器の脅威にさらされ続けている。

2010年5月のNPT（核拡散防止条約）再検討会議では、「核兵器なき世界」に向けた最終文書が全会一致で採択されるなど、近年の核兵器を巡る状況には、削減・廃絶に向けた一定の道筋が示された。

一方、広島・長崎では、原爆投下から67年が経過した今なお、原爆の後遺症により多くの人々が苦しんでいる実態があり、このような核兵器がまだまだ存在しているという事実は、世界平和への大きな脅威となっている。

日本は原爆が投下された唯一の被爆国として、国際会議における核軍縮決議の提出や、包括的核実験禁止条約の発効促進に取り組んでいる。また、2010年9月に日本と9カ国は、核軍縮・不拡散イニシアティブ(NPDI)を立ち上げて、核兵器保有国と非保有国との橋渡しの役割を果たすべく「核兵器のない世界」に向けた現実的な提案の議論をし、核軍縮の進展に向けて報告フォームの提案を行うなど国を挙げて取り組んでいる。

連合、原水禁、核禁会議の3団体は、「核兵器廃絶」に向けて、2010年のNPT再検討会議の際、ニューヨークでのアピール行動をはじめ、原爆写真パネル展を開催したほか、「核兵器廃絶に向けた1,000万署名」も行い、核兵器による被害の実態と恐ろしさを訴えてきた。今後も、核兵器による悲惨な被害が二度と起こらないよう「核兵器の実験中止」、「核兵器廃絶」に向けて、世界に向けて強く広く働きかけを続けていく。

被爆者支援では、いまだ被爆者の問題が残されており、国としての援護施策のさらなる充実が必要である。引き続き、原爆症認定制度の見直し、被爆体験者への援護施策の充実や被爆二世、被爆三世の健康課題に向けて行動を強めていく。

また2011年3月の東日本大震災により福島第一原子力発電所で事故が発生した。放射線に対する健康管理の徹底や、風評被害への対応、放射線差別が行われないよう全国で取り組まなければならない。

私たち3団体は、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現をめざして、これからも国際労働組合総連合(ITUC)や、2020年までに核兵器全廃をめざす「2020ビジョン」を推進する「平和市長会議」、そして多くのNGOとも連携し、職場や地域で粘り強く取り組み、2015年NPT再検討会議に向けて取り組みを強化していく。

「ノーモア・ヒロシマ!」「ノーモア・ナガサキ!」「ノーモア・ヒバクシャ!」

2012年8月7日

核兵器廃絶「2012平和ナガサキ大会」

ピースウォーク

ピースウォークは、連合長崎青年・女性委員会のメンバーがピースガイドとして被爆者からの聞き取りや現地調査など事前研修を積み重ねて実施しています。参加者は原爆慰霊碑や記念碑等（原爆落下中心地公園・平和公園）をめぐりピースガイドの説明を受けます。今年は8月8日（水）9:00～11:30に650人の参加で実施しました。



平和シンポジウム in 長崎

8月8日（水）14:00～16:00に原爆資料館大ホールで、「2015年NPT再検討会議に向けた取り組み」をテーマにしたシンポジウムを開催しました。（参加者400人）



万灯流し

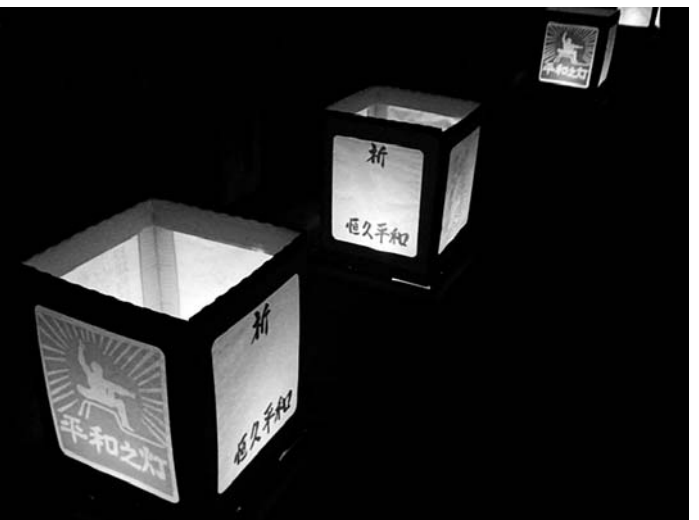
市民参加型の平和運動を継承していくために、これまで「万灯流し」を取り組んでいる原爆殉難者慰霊奉賛会・城山連合自治会等と連携をはかり、1999年から連合長崎として協力・参加・参画、今年で14年目になります。

あわせて、「万灯作成」については、構成組織等に

お願いし、産別での作成、集合方式による作成をしています。特に集合方式による「万灯作成」は、①次世代への継承、②親子のふれあいをも目的としながら、家族参加により実施しています。

今年は7月28日(土)に万灯作製を行い8月9日(木)19:00から万灯流しを行いました。





2012連合平和運動に関わっていただいた組合員・家族の皆さんありがとうございました。皆さんの
おかげで無事に終了することが出来ました。ありがとうございました。
「すべての核兵器をなくし 世界の恒久平和を実現！」するためにこれからもよろしくお願いします。

2012年度 連合長崎政策・制度要求

連合長崎は、7月31日(火)、中村知事に「連合長崎2012年度政策・制度要求書」を提出しました。要求については連合長崎政策委員会(田端委員長)で議論を積み重ね策定しました。(要求項目は11分野30項目)

当日は、連合長崎小石会長から、中村知事に要求書を提出した後、森事務局長が要求要旨を説明し意見交換を行いました。

なお、県からの回答は文書によって8月末(目途)に行われる予定です。

小石会長から中村知事へ要求書を手交



中村知事があいさつ

中華人民共和国駐長崎総領事館への要請行動

連合長崎は、長崎原水禁、核禁会議長崎とともに、「核兵器廃絶に向けた取り組み」として、中国総領事館へ要請行動を行いました。

3団体を代表して連合長崎小石会長より李文亮総領事へ要請書を手交し、「核兵器の縮減・廃絶に向けた取り組みを強化するとともに、貴国の国家主席が来日された際には、長崎・広島へご訪問されて核兵器の悲惨な状況を感じていただきたい。」と要請いたし

ました。

要請を受け、李文亮総領事は、「人類は不幸にも、核兵器を発明・製造してしまったが、21世紀中には核兵器を廃絶できる知恵も持っていると思っている。核兵器廃絶の取り組みがより大きな成果を得るためには、単なるアピール、スローガンではなく、具体的に訴えていくことが重要である。」と述べ、核兵器廃絶に向けて共に取り組むことを確認いたしました。

友好首長・議員フォーラム総会・研修会

7月28日(土)14:30からセントヒル長崎で「友好首長・議員フォーラム総会・研修会」を開催しました。

総会では構成員の確認や2012~2013年度活動方針について確認をいただきました。その後開催した研修会では、連合から仁平局長・遠藤部長を招へいし「社会保障と税の一体改革に関する連合の考え方」について説明が行われました。



渡辺代表 あいさつ



講師:連合 仁平局長



講師:連合遠藤部長

公務労協・公契約条例と公共サービス基本条例 学習会

6月23日(土)、公務労協(連合長崎官公部門)は長崎ワシントンホテルで「公契約条例と公共サービス基本条例」の学習会を開催しました。当日は推薦首長、構成組織、地協、自治体に参加を呼びかけたところ約100人の参加をいただきました。

講師として公務労協 花村 靖 副事務局長をお招きして、「条例は行政サービスの質を落とさないために規定する」ことや「制定には首長のイニシアチブが必要」など、参加者にわかりやすい内容の講演をいただきました。



アジア・アフリカ支援米 カンボジアへ

3月21日に発送式を行いました「アジア・アフリカ支援米」は、7月初めにカンボジアの首都プノンペンにあるWFP(国連世界食糧計画)事務所の提携団体のNGOである「フォー・ザ・スマイルオブチャイルド(子どもの笑顔のために)」に対して贈呈式が行われました。

このお米は、同施設の約1,000人の生徒の1年間の朝食に使われます。この子どもたちは貧しい家庭に育ち、ゴミの山で廃品回収などを行い生計を立てていました。そうした子どもの教育施設の給食用に支援米が使われています。

今年も各地区で田植えを行った支援米を収穫し、3月に発送予定としております。



9月はがんばくん募金推進月間です

がんばくん募金に ご協力をお願いします。



◆第69回国民体育大会(長崎がんばらんば国体)及び第14回全国障害者スポーツ大会(長崎がんばらんば大会)の成功へ向けて、募金活動を実施しています。寄せられました募金は、両大会のボランティアやおもてなし活動などの経費に活用させていただきます。

◆募金の方法

- お近くの金融機関から。

次のがんばくん募金取扱金融機関の窓口で専用の振込依頼書(振込手数料無料)を用意しておりますので、ご利用下さい。

十八銀行、親和銀行、長崎銀行、たちばな信用金庫、
長崎三菱信用組合、九州労働金庫、県内の各JA

- がんばくん募金箱へ。

県や市町の公共施設などに長崎県産材を使った募金箱を設置しています。

- 募金付きマスコットグッズを購入。

代金の一部が、募金となります。ピンバッジ、クオカード、ぬいぐるみ、ポロシャツがあります。

県内募金グッズ販売取扱店でご購入できます。詳しくは、下記へお問合せ下さい。

◆お問い合わせ先

長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会実行委員会事務局

(長崎県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課)

〒850-8570 長崎市江戸町2-13

TEL:095-895-2793 FAX:095-824-3633

<http://nagasaki-kokutai2014.jp/>

長崎国体

WEB検索



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

長崎がんばらんば大会 2014

第14回全国障害者スポーツ大会 平成26年11月1日(土)～11月3日(月・祝)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

もう、 ひとりでがんばらないで。

「もう、がんばれない…」
「誰にも言えない…」
「これからどうしたらいいのか…」
そんな人のための相談室です。

まずは、あなたのお話を
お聴きします。

あなたのお電話は、
産業カウンセラーが
真摯にお受けします。

プライバシーを守ります。
安心してご相談ください。

9月10日は 世界自殺予防デー

9.10世界自殺予防デー(WHO)
にあわせて「働く人の電話相談
室」を開設します。
ご家族からのご相談にも応じ
ます。

「働く人の電話相談室」

9 / 10 (月) 11 (火) 12 (水)

10:00~22:00



0120-583358

主催：  社団法人 日本産業カウンセラー協会

協力：日本労働組合総連合会（連合）

後援：内閣府／厚生労働省／中央労働災害防止協会

独立行政法人 労働者健康福祉機構／社団法人 全国労働基準関係団体連合会

日本産業カウンセリング学会／日本産業精神保健学会

公益財団法人 産業医学振興財団